



日本中東学会 第39回年次大会 公開講演会

不確実な時代における

— 化石燃料、食薬資源、再生可能エネルギーの観点から —

中東研究の可能性

2023年

5月13日(土)

第一次石油危機から50年を迎え、食料・エネルギー価格高騰等が起こる中、中東地域は、エネルギー安全保障の観点から日本にとって重要なパートナーであり、石油や天然ガス、食薬、水素、太陽光など様々な資源の宝庫です。

本講演会では、中東と日本の過去と現在、そして未来を見据え、化石燃料、食薬資源、再生可能エネルギーの観点から、中東地域の魅力やポテンシャル、不確実な時代における中東研究の可能性について話し、中東地域についての理解を深めます。

13:00 ~ 15:40 一般公開・無料

つくば国際会議場(3F) 中ホール300

登壇者

講演者: 近藤 重人 (日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員)

「中東・日本関係の過去と将来:
エネルギー安全保障と気候変動の視点から」

講演者: 礒田 博子 (筑波大学生命環境系教授)

「北アフリカ食薬成分機能性解析の文理融合研究による新展開」

講演者: 岡島 敬一 (筑波大学システム情報系教授)

「再生可能エネルギー由来水素製造とサプライチェーン: 中東への期待」

討論者: 塩尻 和子 (筑波大学名誉教授、アラブ調査室長)・長沢 栄治 (東京大学名誉教授)

つくば国際会議場・
Zoomウェビナーの
併用による
ハイブリッド開催

※学会員に限らず、どなたでもご参加いただけます(参加費無料)。
※オンライン参加の場合、下記リンクまたはQRコードにて事前にご登録ください。

<https://forms.gle/TN8eJrwJUKMmh7NN7>

